

桑名市議会議長
伊藤 真人 様

第2班 班長
伊藤 研司 印

議会報告会実施結果報告書

開催日時	令和元年 12月 6日 (金) 18時30分 ~ 20時00分		
開催場所	多度まちづくり拠点施設		
出席議員	班長	伊藤 研司	
	司会	松田 正美	記録者 水谷 真幸
	森下 幸泰	森 英一	満仲 正次
	市野 善隆		
参加人数	21 人		
議会報告の概要	・開会挨拶 ・各議員紹介 ・市議会だより（2019年（令和元年）12月1日号）の説明 防災についての議論について 6月議会、9月議会での各常任委員会における議論について 決算の概要について 二つの附帯意見のその後について ・質疑応答		
主な意見・要望	意見交換については、別紙参照		
備考			

議会報告会記録

【第2班】

開催日時	令和 元年 12月 6日 (金) 18時 30分 ~ 20時 00分
開催場所	多度まちづくり拠点施設
参加人数	21 人
者からの意見・要望等	(◎議員、○参加者、各個人の意見を要約)
	●意見交換「防災」について
	○大鳥居を含めた地区は水害の危険性が高い地区であります。今年9月の大雨で真夜中0時半ごろに避難指示が出ました。雨風雷強い中で、多度中小学校に逃げなさいと言われてました。いつもは多度東小学校が避難場所ですが、水害の危険性があるということで多度中小学校ということでした。地区からかなり距離があるということで、ほとんどの人が避難できませんでした。多度東小学校でも2階以上であれば、水没はしないと思われます。避難場所が体育館なので、水没の危険性があるということだと思われますが、融通はきかないのでしょうか。また避難指示の出し方にも工夫が必要だと思ひます。通りいっぺんに言われても、どうしていいかわかりません。2階に逃げてくださいとか、崖の反対側に逃げてくださいとか言っていたくと対応ができるのでないかと思ひます。
	◎大鳥居の人が多度中小学校に避難しろというのは問題があると思ひます。再検討してもらひようにします。
	○昔から避難所は小学校というように思ひていました。そこで多度東小学校に行ってみたら、避難所が開設されていませんでした。避難所の情報が不明確だったので、明瞭にして欲しいです。
	○以前に海津市と防災の協定を結んだと聞きました。まだその協定は有効なのでしょうひか。今回、多度中小学校に避難するよりも、海津市に行つた方が近かつたのですが。
	◎市の方でいろんな協定を結んであります。海津市とも結んでありますが、また確認したいと思ひます。
	※海津市との相互協定はあり、海津市内地域への避難は可能です。避難場所等は災害の種類にもよりますので、海津市のホームページをご参考ください。

○防災マップについて液状化現象についてのマップがないのですが、それについては必要ではないのでしょうか。堤防も液状化現象で損壊するかもしれません。これまでそのような議論はなかったのでしょうか。

◎液状化については工事の際に想定はされていますが、堤防は倒れるのは想定のうちで、いかに津波を遅らせるかが重要と考えられています。

○5年ほど前は台風の時でも多度東小学校に避難しました。その時と何が違うのか確認してもらいたいです。何々でどこどこに避難してください、というように理由も付け加えて、情報を伝えてほしいです。その方が住民が安心すると思います。

◎できると思います。なぜ多度東小学校でなくて、多度中小学校にしたのかも確認いたします。

○これは端的に標高の問題です。5年前からは見直し、新しいハザードマップになっているはずですが。多度町は国道258号線から東は水没が予想される地区です。今回のように、古野や美鹿で降水量が多くなり、肱江川、多度川の越水の危険性がありましたので、標高の高いところに逃げてもらおうというのが基本になります。多度中小学校や多度まちづくり拠点施設は標高があるということだと思います。

○夜遅くに避難指示が発令されても逃げられません。もっと早い段階で避難勧告等を出して欲しかったです。

○避難のタイミングが問題になってくると思います。こちらでも早めに避難の情報を出すことが今後検討を要することだと思われます。

◎当時は、線状降水帯ではないと思っていたということです。部分部分に雨が降ると思っていたので、0時過ぎに出さざるをえなかったと。避難情報は、23時くらい睡眠前に出してからでないといけないと思います。線状降水帯ということが分かったのが、翌日になってから初めて分かったので、という返事でした。

◎いずれにしても状況判断はまずかったと思うので、確認したいと思います。

○やっぱり命を守るっていうのは、個人個人考えて判断しないといけないと思います。

●意見交換「小中一貫校について」について

○多度の小中一貫校の候補地が多度中小学校ということだが、多度中学校よりも狭いわけです。いなべ市藤原に小中一貫校がありますが、48000 平米の敷地があります。多度小中学校になると、22000 平米の敷地で 800 人くらい的人数になります。地元の小学校がなくなってしまうなら、それにかわる魅力ある学校にしてほしいです。敷地も二段になっています。これが増えていくのでしょうか。それならば、小学校だけの統合でいいのではないのでしょうか。

◎私は多度中小学校というよりも小山の土地にしたらいいのではないかと考えていました。小山の 1、2 工区の方の換地がされていません。小山に造成されている土地を使うことで、1、2 工区の人々の換地の問題も解消できるからです。多度中小学校にした場合、天王平遺跡発掘も必要になってくるかもしれません。小学校だけの統合ということにすると複式学級になってしまう可能性もあります。

藤原の小中一貫校も成功しているので、小中一貫校もいいのかなと思っています。

○複式学級の問題を解消したいとは思っています。もし小中一貫校にするならば、もっと広い敷地でしてほしいと思います。

◎当初は複合施設ということだったが、小中学校だけということですので、面積の問題はあまりないのかなと個人的には感じています。

○国の指針としては、小中一貫校は 4 万平米となっています。

○どのように政策決定をしたかを情報公開請求したが、そういう公文書がないということでした。誰がどう決めたかが気になります。多度小中一貫校の事業委託について基本構想の報告書だけしかできておらず、2回連続で減額になっています。想定が甘かったのではないのでしょうか。

市民は小中一貫校を建てるのであれば、きちんとしたところに建ててほしいということです。土地が斜めになっていますので、資格もできやすく問題があると思います。土地も4万平米必要だと思います。

◎構想と計画は10月末に発表するというので、業者に頼んでいました。敷地の使い勝手の問題については色々問題はあ

参加者からの
意見・要望等

参加者からの 意見・要望等	●その他
	○市役所の部署の名称が分かりにくいです。市民が行ったときにわかりやすいような名称にしてほしいです。
	桑名市は生涯学習に力を入れていると思います。まちづくり拠点施設があるが、ここ7年くらいで講座数が半分くらいになってきていると思います。特に、地方の拠点では講座数は少なくなっています。募集人員、定員の融通をもっときかせてほしいです。
	○予算がないとはよく言われるのですが、財政破綻するのでしょうか。
	◎全国平均からみれば多いかもしれません。夕張市の財政破綻以降、自治体がお金を借りようとするときも、指標をもとに許可をえなければならなくなっています。桑名市はその数値はクリアしています。
	○IRについては不安があります。
	○山除川の流域で護岸がかけて、土地が減っているのに、固定資産税を従前通りにかけられているのは問題だと思います。農業関係の地元団体負担金についても土地の所在や面積等が十分に把握されていない同様の問題がある。
	○多度町の敬老会が中断になったことや御衣野の駐在員の方が毎年のように交代することや働きのこと、Kバスの停留場のことなど多くのことを議員の方々に共有してほしいです。